

VII

堺市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略



堺市まち・ひと・しごと 創生総合戦略

1 序章

出生率の低下に伴う人口減少に歯止めをかけることや、東京圏への人口の過度な集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持することを目的に、2014年9月、まち・ひと・しごと創生法が制定された。

国では、同法に基づき同年12月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）が、2019年12月に第2期総合戦略が策定されている。

本市においては、2016年2月に「堺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「堺市総合戦略」という。）を策定した。人口減少への対応やまちの活性化など、本計画と基本的な考え方や方向性が共通するため、今回の改定にあわせ本計画と一体化を図り取り組む。

2 基本方針

総合戦略の基本的な考え方を踏まえたうえで、「まち」・「ひと」・「しごと」の3つの創生分野における取組を本計画の5つの重点戦略と一体的に推進することで、本市が将来にわたり持続的に発展する都市経営を実践する。

3 地方創生における基本的方向

(1) 堺の特色ある歴史文化と強くしなやかな都市基盤 ～「まち」の創生～

堺の類稀な歴史文化資源に磨きをかけ、後世にその価値を引き継ぎ、歴史や文化芸術、国際交流を通じて、都市のブランド力の向上を図り、新たな誘客や交流を生み出す。

安全・安心な市民生活や社会経済活動の基盤として、犯罪のない、防災・減災力の高い強靱な都市や世界に発信できる環境先進都市を実現する。

【基本目標】

指標名	現状値		目標値(2025年度)
来訪者数 (大仙公園エリア+環濠エリア)	212.0万人	2019年度	360万人

① 歴史資源や文化の魅力創出による交流人口の創出

1600年にわたり保全されてきた古墳群を後世へ継承し、世界遺産の「百舌鳥・古市古墳群」に代表される堺の歴史文化資源の価値や魅力を国内外に発信することにより、絶え間なく人が訪れ交流するエリアを実現する。

歴史的なまちなみを有する環濠エリアや親水空間を有する堺旧港において、堺ならではの魅力を高め、歴史文化に触れる機会や新たな魅力を創出する。環濠エリアを大仙公園エリアと並ぶ二大誘客拠点として、国内外から多くの人々が訪れ、市民が愛着を感じる個性と活気あるエリアにする。

質が高く、幅の広い文化芸術に触れる機会を市内外の人に提供し、自由で心豊かな市民生活や、

活気があり魅力あふれる都市の実現をめざす。

姉妹・友好都市やアセアン諸国などと幅広い分野で国際交流を強化し、都市の魅力を高める。

【重要業績評価指標 (KPI)】

指標名	現状値		目標値 (2025年度)
大仙公園エリアへの来訪者数	29.4万人	2019年度	60万人
環濠エリアへの来訪者数	182.6万人	2019年度	300万人
文化施設の利用者数	1,049,822人	2019年度	1,500,000人

(関連する重点戦略) 1 堺の特色ある歴史文化

②エリアのポテンシャルを活かしたまちの活性化

堺東駅周辺や堺駅周辺を核として、商業・業務などの都市機能の集積や、多様な人が安全・快適に過ごせるウォークアブルな空間の形成を推進する。

広域的な交通網の整備に係る動向や、本市の交通ネットワークの現状を踏まえ、東西交通の整備に向けた取組や、MaaSなどの次世代技術を活用した新しい時代にふさわしい交通の取組を進める。

豊かな緑空間と都市機能が調和する泉北ニュータウンにおいて、様々なライフスタイルに対応した働く場の創出、健康長寿、子育て・教育の取組を推進することで、多様な世代が住み、働き、愉しみながら豊かに暮らすことができる魅力的なまちをめざす。

【重要業績評価指標 (KPI)】

指標名	現状値		目標値 (2025年度)
堺東駅・堺駅の乗降客数 (定期利用者を除く)	43,835人/日 (合計)	2019年度	45,000人/日 (合計)
泉北ニュータウン全人口に対する 39歳以下の人口割合	29.5%	2025年 推計値	30.5%

(関連する重点戦略) 4 人や企業を惹きつける都市魅力

③強靱な都市基盤の構築

大規模地震や激甚化する風水害などの災害に備えるため、公助としての都市インフラの耐震化や浸水対策などに加え、市民自身による備えや地域住民による防災活動などの自助・共助を促進し、都市の防災・減災力の向上を図る。

市民生活・社会経済活動を支える道路・公園などの都市インフラや公共施設の老朽化に適切に対応するため、総量の最適化や長寿命化を基本とした計画的な維持管理・更新を着実に進め、将来にわたって安全性を確保し、持続的なサービスを提供する。

市民の日常生活、社会経済活動を支える安全で快適な道路ネットワークの形成や公共交通の維持確保を図る。

【重要業績評価指標 (KPI)】

指標名	現状値		目標値 (2025年度)
緊急交通路等における 橋りょうの耐震化率	70.0%	2019年度	97.0%
補修が完了した橋りょう数	—*	—	80橋 (2021～25年度の累計)

※橋りょうの補修は、完了するものではなく、定期的を実施する必要がある。

(関連する重点戦略) 5 強くしなやかな都市基盤

④ゼロカーボンシティの推進と循環型社会の構築

脱炭素を実現する都市をめざし、再生可能エネルギーの導入、省エネルギーの徹底、エネルギーマネジメントや自立分散型電源の導入促進などの気候変動緩和策に取り組む。

顕在化が進む気候変動の影響に対処するための適応策を推進することや、生態系、緑の保全などに取り組むことにより、安全・安心で快適な暮らしを確保する。

市民・企業など様々な主体の連携・協働により、4Rを基本としたごみの減量化・リサイクルを推進し、市民などの価値観・行動の変容による環境配慮型の社会システムやビジネスモデルへの転換を図る。公害の経験や市内企業が有する技術などを活かし、環境面での国際都市間協力を推進する。

【重要業績評価指標 (KPI)】

指標名	現状値		目標値 (2025年度)
市域の温室効果ガス排出削減量 (2013年度比)	14.1%	2017年度	19.0%
1人1日当たり家庭系ごみ排出量	643g	2019年度	628g

(関連する重点戦略) 5 強くしなやかな都市基盤

(2) 将来に希望が持てる子育て・教育と人生100年時代の健康・福祉 ～「ひと」の創生～

子どもの「今」が大切にされ、将来に希望を持って健やかに育ち、未来にはばたけるよう、子どもを安心して生み育て、より良い教育を受けられる環境をつくる。

すべての人がいくつになっても、心身ともに健康で、輝きながら暮らし続け、充実した生活を送ることができるよう、健康・福祉の充実を図る。

【基本目標】

指標名	現状値		目標値(2025年度)
年少人口(0～14歳)	94,901人	2025年推計値	96,000人
健康寿命	男性 71.46年 女性 73.60年	2016年	男性73.40年 女性76.40年

① 子育て支援や厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実

多様化する子育てニーズに対応できるよう、それぞれのライフステージに合わせた切れ目のない子育て支援の充実を図り、すべての家庭が安心して子どもを産み育てられる環境形成をめざす。

子どもの現在と将来が、生まれ育った環境によって左右されず、貧困の連鎖を生み出さない社会の実現をめざす。

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	現状値		目標値(2025年度)
保育所待機児童数	11人	2020年度	0人
放課後児童対策等事業にかかる待機児童数	2人	2020年度	0人
児童扶養手当受給者に占める 全部支給の割合	59.5%	2019年度	全国を下回る*

※2019年度 50.4%

(関連する重点戦略) 3 将来に希望が持てる子育て・教育

② 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の充実

子どもの可能性を最大限に発揮し、自ら未来を切り拓くことができるように自分で考え、創造し表現する力を一層高めることや、堺の歴史文化に触れて郷土や国を愛する心を育み、広い視野を身につけられる教育を推進する。

これからの時代を生き抜くために、英語やICTなど時代に必要な手段を使いこなす力を身につけられる教育を推進する。

子どもの豊かな情操や道徳心を培い、多様性を認める心や自己肯定感・自己有用感や他者への思いやりなどを育み、社会の一員としての責任を自覚し、豊かな人権感覚を持って行動する子どもの育成に向け取り組む。「誰一人取り残さない」という理念のもと、個々の状況に応じていじめや不登校などに対応する。

子どもの可能性を伸ばし、未来を切り拓く教育や多様性を尊重した教育を推進するためにも、熱意と指導力を持つ教員の育成に取り組む。

全員喫食制の中学校給食の実施、学校規模の最適化や学校・家庭・地域が連携して子どもの健全育成に取り組み、すべての子どもが安心して、いきいきと学べる教育環境の充実を図る。

また、すべての人が生涯を通じて学び続けることができる環境を整備する。

【重要業績評価指標 (KPI)】

指標名	現状値		目標値(2025年度)
学力調査の堺市の平均値 (全国を100とした場合)	小6 100.5 中3 95.8	2019年度	小6 103.0 中3 100.0
「自分にはよいところがある(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)」と答えた児童生徒の割合	小6 83.1% 中3 73.2%	2019年度	小6 90.0% 中3 90.0%
「人が困っているときは、進んで助けている(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)」と答えた児童生徒の割合	小6 89.3% 中3 85.4%	2019年度	小6 94.0% 中3 90.0%

(関連する重点戦略) 3 将来に希望が持てる子育て・教育

③心身ともに健康で、輝きながら暮らし続けることができる健康・福祉の充実

人生100年時代を見据え、市民それぞれが健康増進に主体的に取り組み、主要な生活習慣病などの発症と重症化の対策を進め、健康で自立した生活が送れる社会の実現をめざす。

本市が誇る大規模スポーツ施設や体育館などのスポーツ施設を活かし、ライフスタイルに応じて、すべての人が生涯にわたりスポーツ・運動を身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現をめざす。

高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで安心して心豊かに暮らし続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援の一体的かつ継続的な提供や、認知症をはじめ複雑で多様な課題を抱える世帯への支援を充実する。

【重要業績評価指標 (KPI)】

指標名	現状値		目標値(2025年度)
特定健康診査受診率	27.2%	2018年度	50%以上
スポーツ・運動習慣者割合 (1回30分以上の運動を週2回以上行う者)*	23.7%	2017年度	50.0%
前期高齢者の要支援認定率	2.83%	2019年度	2.30%

*1日に複数回に分けて合計30分以上の運動を週2回以上している場合も含む。

(関連する重点戦略) 2 人生100年時代の健康・福祉

(3) 人や企業を惹きつける都市魅力 ～ 「しごと」の創生～

人や企業を惹きつける魅力を創出し、イノベーションを次々と生み出すことで、持続的で発展的な地域の活性化につなげる。

【基本目標】

指標名	現状値		目標値(2025年度)
事業従事者1人当たり付加価値額	508万円	2016年度	528万円

①堺発のイノベーション創出と民間投資の誘導

企業を取り巻く経営環境や社会環境が急激に変化する中、市内中小企業や起業家が新たな事業に挑戦しやすい環境を整備し、ICTや健康・医療、環境・エネルギーといった成長分野などにおけるイノベーションを創出することにより、地域経済の持続的な好循環を生み出す。

産業の持続的な発展に向け、成長産業分野への投資の誘引や、高付加価値型産業への転換を促し、市内経済や関西の経済への波及を生み出す。

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	現状値		目標値(2025年度)
イノベーション創出につながる事業数	74件	※1	100件 (2021～25年度の累計)
堺市イノベーション投資促進条例に基づく認定投資額	約227億円	※2	1,000億円 (2021～25年度の累計)

※1 現状値は、5年(2015～19年度)の累計

※2 現状値は、10年(2010～19年度)の年間平均

(関連する重点戦略) 4 人や企業を惹きつける都市魅力

(2) 多様な人材が活躍できる雇用環境の維持・拡大

生産年齢人口の減少に伴う人手不足などの課題を解消し、女性、若年者、高齢者、障害者、外国人など多様な人材が活躍できる社会の実現に向け、市内雇用の維持・拡大をめざす。

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	現状値		目標値(2025年度)
女性の就業率	49.8%	2019年度	55.0%

(関連する重点戦略) 4 人や企業を惹きつける都市魅力

(4) 進行管理

「Ⅵ 計画の進行管理」と同様とする。

